2012年（第47回）日本産業広告賞　入賞会社一覧

＜新聞部門＞		掲載日	スペース
日刊工業新聞広告大賞			
	パナソニック株式会社	9月12日	全30段
第1部			
第1席	パナソニック株式会社	9月12日	全30段
第2席	三菱電機株式会社	9月5日	全30段
第3席	株式会社東芝	9月11日	全30段
佳　作	旭化成株式会社	1月30日	全30段＋全15段
佳　作	株式会社富士通エフサス	11月21日	全30段
佳　作	富士通株式会社	1月4日	全30段
第2部			
第1席	株式会社クボタ	3月23日	全15段
第2席	パナソニック株式会社	9月18日	全20段
第3席	東日本旅客鉄道株式会社	8月3日	全15段
佳　作	鹿島建設株式会社	9月18日	全15段
佳　作	清水建設株式会社	8月1日	全15段
佳　作	株式会社富士通エフサス	6月29日	全20段
第3部			
第1席	TDK株式会社	1月6日	全10段
第2席	岩谷産業株式会社	9月7日	全14段
第3席	三木プーリ株式会社	9月18日	全10段
佳　作	パナソニック株式会社	9月14日	全7段
佳　作	東日本旅客鉄道株式会社（他9社）	4月4日	全7段
佳　作	NEC	12月15日	全7段
第4部			
第1席	三木プーリ株式会社	8月29日	全5段
第2席	日立建機株式会社	9月13日	全5段
第3席	オルガノ株式会社	8月23日	全6段
佳　作	株式会社堀場製作所	9月11日	全5段
佳　作	横浜ゴム株式会社	9月18日	全5段
佳　作	株式会社富士通エフサス	7月12日	全6段
シリーズ第1部			
第1席	株式会社東芝	9月13日他	全15段×3
第2席	住友ゴム工業株式会社	4月24日他	全15段×6
第3席	株式会社日立製作所	2月16日他	全15段×3
シリーズ第2部			
第1席	三菱電機株式会社	9月13日	全5段他×7
第2席	文化シヤッター株式会社	9月4日他	全7段×4
第3席	株式会社富士通エフサス	11月15日他	全7段×3
佳　作	日立金属株式会社	5月24日他	全7段×3
佳　作	BASFジャパン株式会社	10月5日他	全7段×4
佳　作	富士通エフ・アイ・ピー株式会社	5月31日他	全5段×3
モノクローム広告賞			
第1席	株式会社富士通エフサス	12月27日他	全7段×6
第2席	株式会社スギノマシン	7月31日	全14段
第3席	富士電機株式会社	11月16日	全15段
佳　作	株式会社日立産機システム	2月27日	全15段
佳　作	TDK株式会社	3月23日	全5段×5
佳　作	株式会社安川電機	1月18日	全5段
生活産業広告賞			
第1席	パナソニック株式会社	9月17日	全30段
第2席	旭化成株式会社	7月23日	全30段＋全15段
第3席	株式会社資生堂	1月5日	全15段
佳　作	富士ゼロックス株式会社	2月20日	全15段
佳　作	株式会社富士通エフサス	6月27日	全15段
佳　作	NEC	3月29日	全15段
＜雑誌部門＞			
第1席	三木プーリ株式会社	機械設計	9月号
第2席	株式会社安川電機	機械設計	9月号
第3席	文化シヤッター株式会社	工場管理	9月号
佳　作	トーカロ株式会社	機械設計	9月号
佳　作	有限会社CERATIZIT Japan	型技術	5月号
佳　作	株式会社エイチアンドエフ	プレス技術	7月号
奨励賞	イグス株式会社	機械設計	7月号
＜情報誌部門＞			
第1席	株式会社富士通エフサス	新製品情報	4月号
第2席	文化シヤッター株式会社	新製品情報	9月号
第3席	株式会社日立産機システム	新製品情報	9月号
佳　作	株式会社昭和トレーディング	新製品情報	3月号
佳　作	ツィンマージャパン株式会社	新製品情報	8月号
奨励賞	株式会社エム・システム技研	新製品情報	9月号

2013年（第48回）日本産業広告賞

参加作品募集

日刊工業新聞社は日本産業広告賞への参加作品を募集しています。日刊工業新聞、本社発行月刊雑誌7誌、新製品情報誌に所定の期間中掲載された広告の中から優秀作品を選び、表彰します。優秀作品には本社賞、産業団体賞を贈ります。また各賞の上位入席広告主の担当者を対象にした産業広告海外研修を実施します。

●掲載期間

新聞部門　2012年9月19日～2013年9月20日
雑誌部門　2012年10月号～2013年9月号
情報誌部門　2012年10月号～2013年9月号

●審査方法

審査規定に基づき本賞審査委員会（委員長：嶋村和恵早稲田大学教授）が行います。

●入賞発表

2013年11月上旬に日刊工業新聞紙上

●表彰式

2013年11月中旬

※参加要項は本社、支社、支局にご請求ください。
お問い合わせは
日本産業広告賞事務局（03・5644・7310）まで。

雑誌部門

第1席　三木プーリ

掲載誌　機械設計9月号

静かで滑らかな高速運転を実現するという製品特性を、音もなく羽ばたくフクロウに比喩した、伝達を確実にする表現は傑作だ。フクロウにアナロジックしたので、消音という性能だけでなく、その夜陰に乗じた活動がとても優れているというイメージが付加されて、それが製品の優秀性に繋がっているような計算は巧みである。さらに、フクロウを立体的にみせて、より視覚効果をあげるために、暗い森があって、その上に満月が輝いているなど。細かい心くばりが好ましい。

第2席　安川電機

掲載誌　機械設計9月号

サーボモーターのサイズが9センチ以下で、これがかぐや姫と同じ大きさであることから、この広告は始まる。彼女の美しさは輝くばかり、光る竹から見つけて育てた翁と媼に、多くの財産を与えてくれる。この昔話のとおり、この製品は高速回転や思い通りのシステム構築などが可能で、数々の利点を生むという。なるほどと感心する説得性の高い名作である。武骨な製品が登場することが多いBtoB表現のなかで、爽やかな青竹の表現は、情感に訴えてインパクトが強い。

第3席　文化シヤッター

掲載誌　工場管理9月号

犯罪現場に立ち入り禁止の黄色のテープが、やたらに張り巡らされている状況は、テレビドラマなどでお馴染みだが、色彩的に黄色と黒の組み合わせはコントラストが強く、注目度が高いからである。この特性をそのまま表現に使ったのがこの広告、巧いものである。熱を遮断するドアの性能を立ち入り禁止となぞらえた発想が、このテープを表現素材に使ったのだろうが、その飛躍が見事である。それだけでなく、テープの下の冷凍魚が、より性能を強化しているのも好感が持てる。

選評

発想や表現が自由
電子媒体との共存を

雑誌広告の制作者はハッピーであると思う。特にBtoBのような専門誌には、その傾向が強い。この部門は、日刊工業新聞社発行の専門月刊誌7誌に掲載された広告が審査対象になるのだが、まず送り手Bが受け手Bのニーズや欲求をよく理解していること。そしてその間に位置するBtoB専門媒体は、両者の情報の過不足に敏感に対応する。

ということは、送り手Bも受け手Bも、BtoB専門媒体も、みんない意味で仲間なのである。エンゲージメント度が高い関係にある。一般広告のように、多種多様の読者の多岐にわたる興味が、どこにあるかと、探したり悩んだりする必要がない。

だから、制作者は表現は思い切って自由で、省略や拡大が可能だから、なんでもできるわけで、制作者冥利につきる媒体であり、まだまだこれからのメディアだと思う。

問題は電子媒体との関係だろう。デジタル面と誌面には、それぞれのケースによって特性もあれば、問題点もある。優れた制作者は、これをしっかり研究・理解して、自らの立ち位置を明確に自覚して制作を始めるから、両媒体は積極的に両立し共存する。新しい伝達内容が期待されるわけである。

（田保橋　淳）

情報誌部門

第1席　富士通エフサス

掲載誌　新製品情報4月号

見開き全面が藍色に暗く染まった画面は迫力があります。手を休めず繰り返し色を染める職人の手、手のしわも爪も藍に染まって仕事の苦労が伝わってきます。力を込めて生地を絞って滴れ落ちる藍のしずく、藍瓶の表面に浮かぶ泡。並大抵ではない職人の技術と伝統を写し撮った写真の力は、富士通エフサスの三つのサービスが目指す、顧客満足度に応え、努力を惜しまぬ姿勢を想像し喚起させることになる。藍より、青く、の姿勢がしっかり伝わり、企業の人格が伝わる堅実な広告になった。

第2席　文化シヤッター

掲載誌　新製品情報9月号

目の前にひろがる絵巻物の世界、王朝時代にタイムスリップして絵巻を楽しむ。十二単の上にかかる黒髪の小野小町は絶世の美女といわれながら残念なことに後ろ姿。男たちは御簾のかげの姫君を一目見たいものとヒソヒソと語り合い話はつきない。王朝貴族の生活に浸っているうちに牛車が収められた新しいシャッター「小町様」のかくされた特徴が全て伝わり、タイムスリップから目覚めて、現代のガレージライフには「小町様」が玄関を飾る顔にふさわしいと納得。常に工夫を重ねる商品開発に負けない広告の挑戦で注目の絵巻物が誕生しました。

第3席　日立産機システム

掲載誌　新製品情報9月号

机の上のパソコンとにらめっこ、時間に、情報に、仕事に追われる毎日では、目はかすみ肩は凝り、腰は痛みで手足を思い切り伸ばしたくなった時に、真っ白な画面に清潔な体操着の女性が登場、「かんたんインバータ体操♪」どうでしょう。自然に身体が飛びつきます。頭で覚えた体操は消えてしまうこともありますが、身体でしっかり身振り手振りで覚え身につけたものはなかなか忘れない。インバータ体操の提案は身体の中にしっかりと着地して効果は大きい。日立インバータは至る所で元気に稼働することになる。

選評

目立たせ、個性化
情報に負けない工夫

新製品情報は全ページ、情報で満載。本誌の情報に埋没しないためには、いかに目立たせ、個性化を図り、広告の役割をしっかりと伝えられるかが問われます。その上、読者の目は肥えている。表現のハードルは高い情報誌です。さまざまな条件をクリアし模索を重ねた広告が競い合うことになります。上位入賞の、富士通エフサスは藍染め職人の藍に染まった手のドラマチックな写真で圧倒し、ITインフラ・サービスを紹介。文化シヤッターは絵巻物で最新のシャッターを物語り、日立産機システムはラジオ体操で企業のメッセージを着実に。佳作の昭和トレーディングは、クリーニング屋さんからきれいに仕上がってお届けたワイシャツがプリント基板のワイシャツと意表をつき、基板の不純物をスッキリ除去してクリーニング屋さんに負けない実力を瞬時に理解させる表現でスッキリと明確に。ツィンマージャパンは歴史に残る偉業を達成した先人、ヘンリー・フォードと伊能忠敬が現在の高精度の測定装置を知ったらさぞかし悔しいことであろうという設定を、ユーモラスなイラストレーションで、開発の進化を語る。奨励賞のエム・システム技研は積層形表示灯のミニが新しく初めて登場したことをロボットのキャラクターと英文キャッチで洗練されたデザインで際立った広告に。いずれも情報誌の情報に負けない工夫を重ね、切磋琢磨した広告の力が発揮される。（中森　陽三）